

# 人権に関する県民意識調査

## 概要版

令和 3 年 3 月



彩の国 埼玉県

# 目 次

## I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
5 回答者の基本属性	1

## II 調査の結果

1 人権全般に対する意識	2
2 女性の人権	7
3 子どもの人権	8
4 高齢者の人権	9
5 障害者の人権	10
6 同和問題（部落差別）	12
7 アイヌの人々の人権	15
8 外国人の人権	16
9 HIV感染者・ハンセン病患者の人権	17
10 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題	17
11 犯罪被害者やその家族の人権	18
12 刑を終えて出所した人の人権	18
13 インターネットによる人権問題	19
14 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	21
15 拉致問題	22
16 ホームレスの人権問題	22
17 地震や台風などの災害時における人権	23
18 働く人の人権	23
19 埼玉県の人権に関する取組	24

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、人権問題に関する県民の意識についての現状を把握し、人権が尊重される社会の実現をめざした施策を推進するための基礎資料とする。

## 2 調査の方法

- (1) 調査地域……埼玉県全域、165 地点（1 地点あたり 30 人程度）
- (2) 調査対象……県内在住の満 18 歳以上の男女 5,000 人
- (3) 抽出方法……住民基本台帳等に基づく層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法……郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用によるアンケート調査
- (5) 調査期間……令和 2 年 10 月 15 日（木）～令和 2 年 11 月 4 日（水）

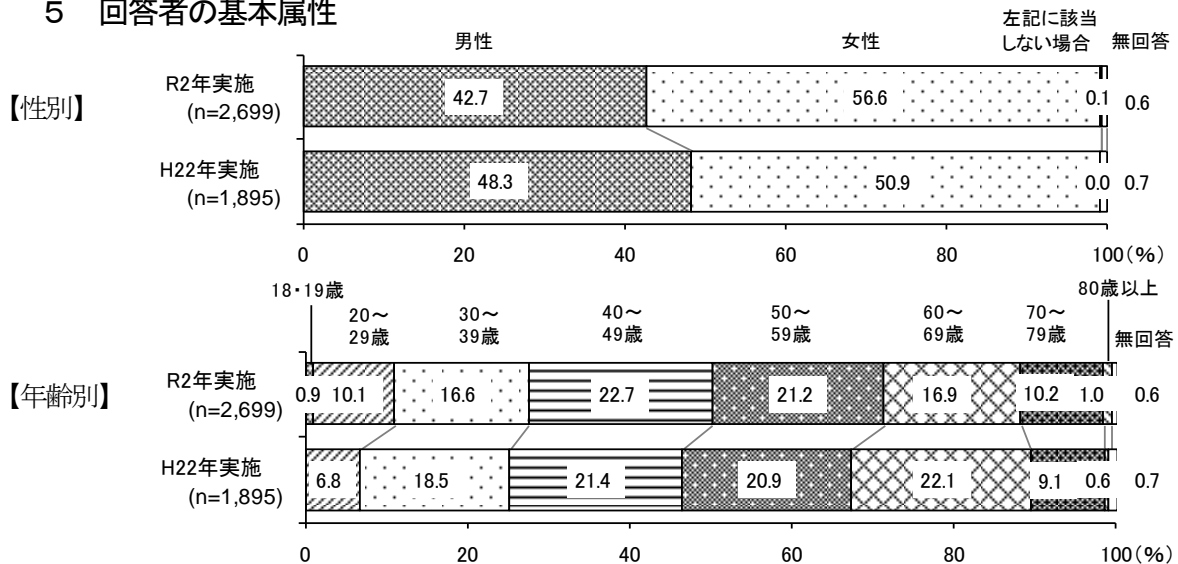
## 3 回収結果

調査票送付人数	有効回収人数	有効回収率
5,000 (人)	2,699 (人)	54.0 (%)

## 4 報告書の見方

- ア 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出したので、回答率を合計しても 100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- イ n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示している。
- ウ 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基数 n として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100%を超えることがある。
- エ 平成 22 年（平成 13 年）に実施した調査と設問の内容が同じで選択肢が同じ（又は類似している）場合には、今回の調査結果と比較して示している。

## 5 回答者の基本属性



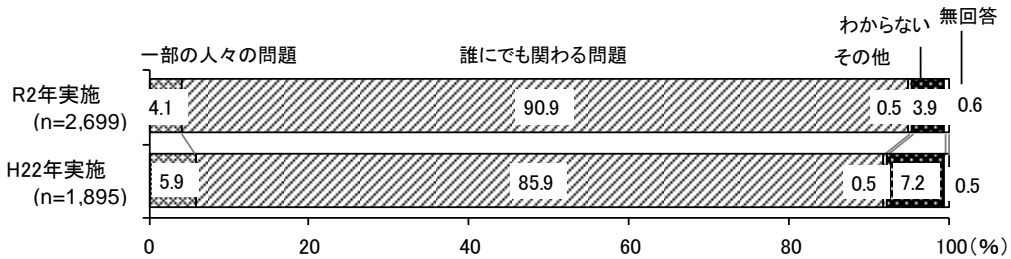
## II 調査の結果

### 1 人権全般に対する意識

問1. あなたは、人権や人権問題についてどのような印象をお持ちですか。(〇は1つ)

**【県全域／前回との比較】**

人権や人権問題についての印象は、「誰にでも関わる問題」が90.9%で最も高く、「一部の人の問題」は4.1%となっている。平成22年に実施した前回調査と比較して、「誰にでも関わる問題」(85.9%→90.9%)が5.0ポイント増加している。

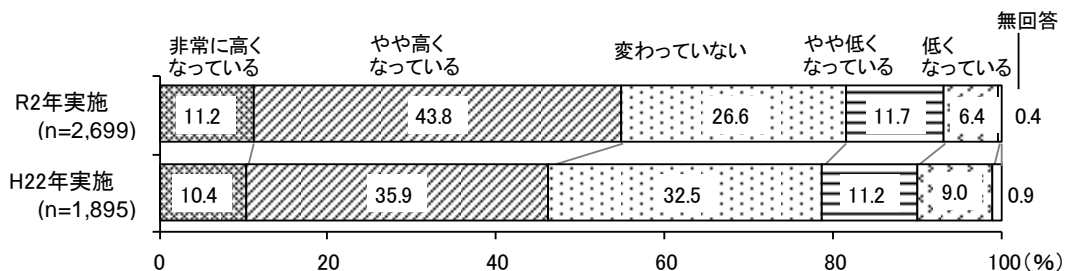


問2. あなたは、国民一人ひとりの人権尊重の意識は、10年前に比べて高くなっていると思いますか。

(〇は1つ)

**【県全域／前回との比較】**

国民一人ひとりの人権尊重の意識は、10年前に比べて「やや高くなっている」が43.8%で最も高く、次いで、「変わっていない」が26.6%となっている。《高くなっている(合計)》(「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計)は55.0%となっている。前回調査と比較して、《高くなっている(合計)》(46.3%→55.0%)が8.7ポイント増加している。

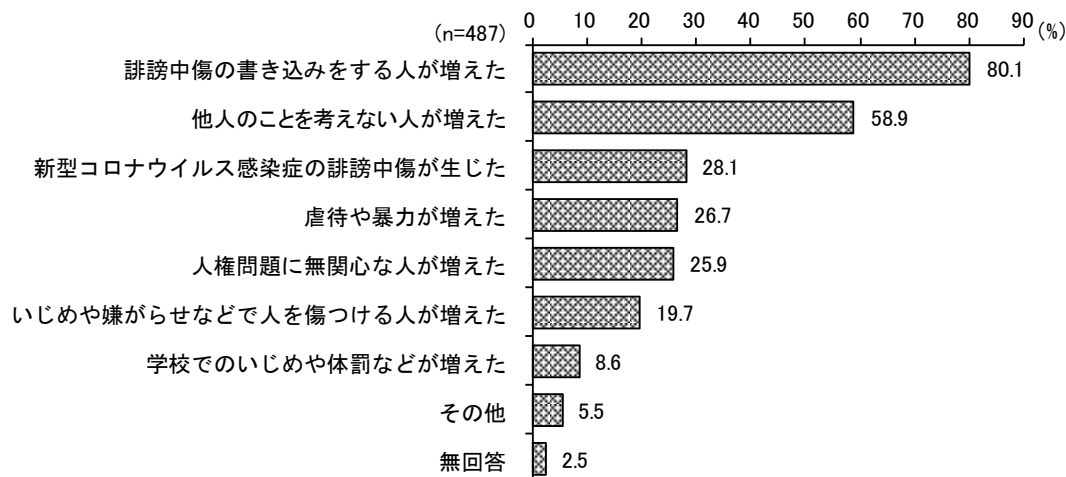


【問2で、「4 やや低くなっている」又は、「5 低くなっている」とお答えの方に引き続きおたずねします。】

問3. そう思われた理由はどのようなことですか。(〇は3つまで)

【県全域】

人権尊重の意識が低くなっていると答えた 487 人に理由を聞いたところ、「インターネットや SNS で誹謗中傷（ひどい悪口）の書き込みをする人が増えたと思うから」が 80.1%で最も高く、次いで、「自分勝手に他人のことを考えない人が増えたと思うから」が 58.9%、「新型コロナウイルス感染症に関わる様々な差別や誹謗中傷（ひどい悪口）が生じているから」が 28.1%と続いている。

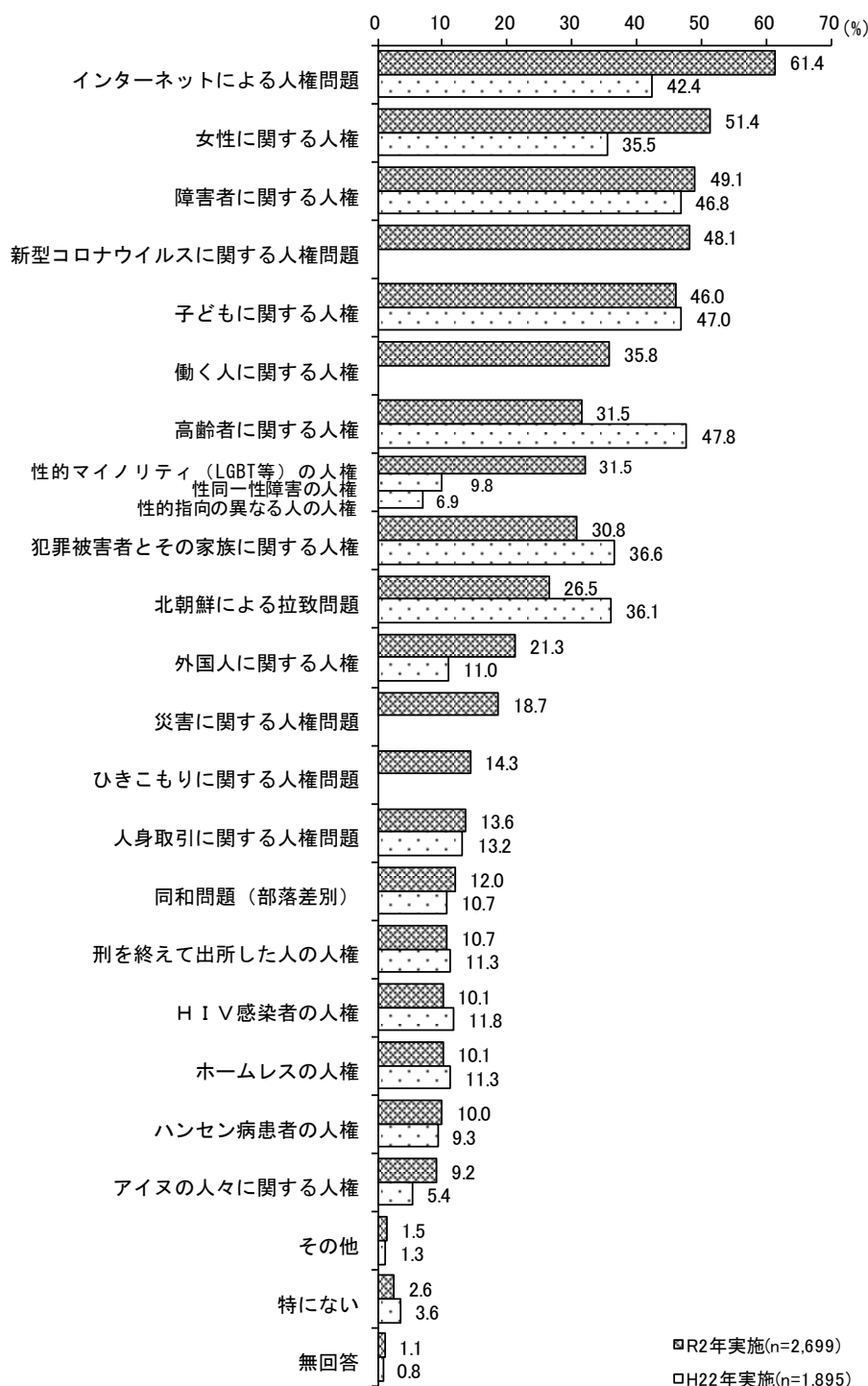


問4. 今の日本の社会に様々な人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。

(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

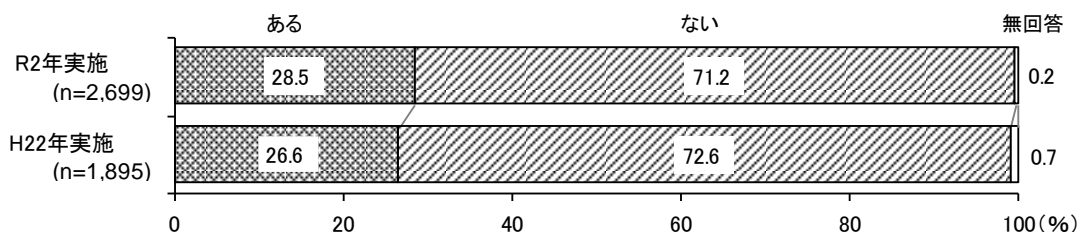
関心のある人権問題は、「インターネットによる人権問題」が 61.4%で最も高く、次いで、「女性に関する人権」が 51.4%、「障害者に関する人権」が 49.1%、「新型コロナウイルスに関する人権問題」が 48.1%と続いている。前回調査と比較して、「インターネットによる人権問題」(42.4%→61.4%)が 19.0 ポイント、「女性に関する人権」(35.5%→51.4%)が 15.9 ポイント増加、「高齢者に関する人権」(47.8%→31.5%)が 16.3 ポイント減少している。



問5. あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの周りの人（家族・友人など）の人権が侵害されたと感じたことはありますか。（○は1つ）

【県全域／前回との比較】

自分自身または周りの人の人権が侵害されたと感じた経験は、「ある」が 28.5%、「ない」が 71.2%となっている。前回調査と比較して大きな変化はみられない。

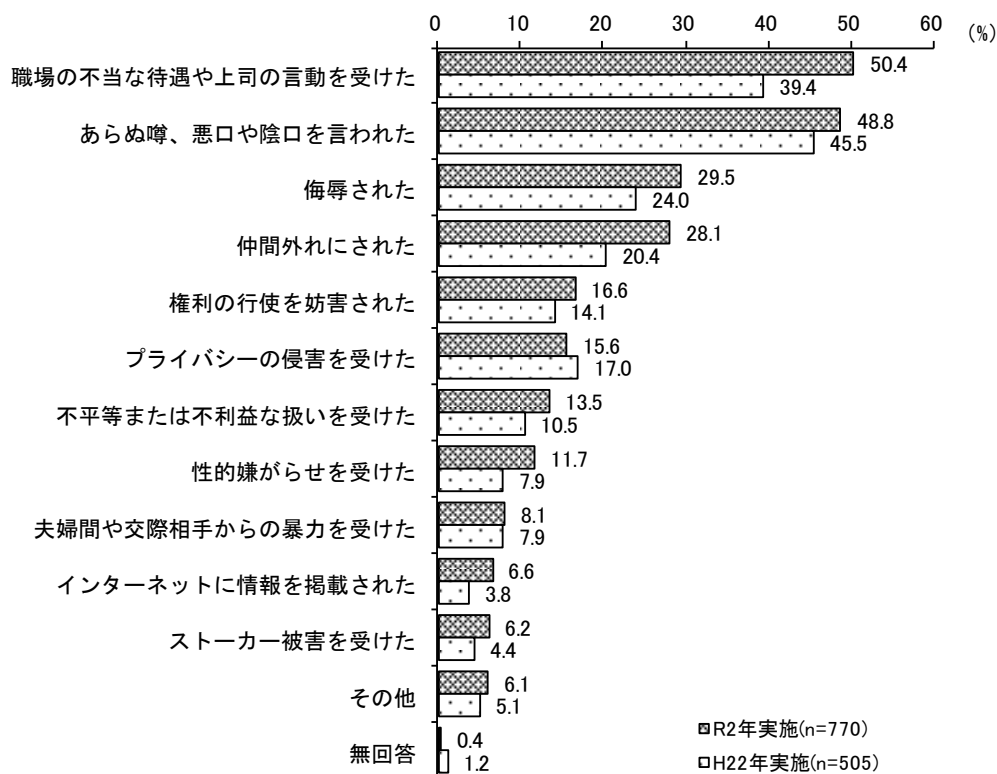


【問5で、「1 ある」とお答えの方に引き続きおたずねします。】

問6 それはどうのような内容ですか。（該当するものすべてに○）

【県全域／前回との比較】

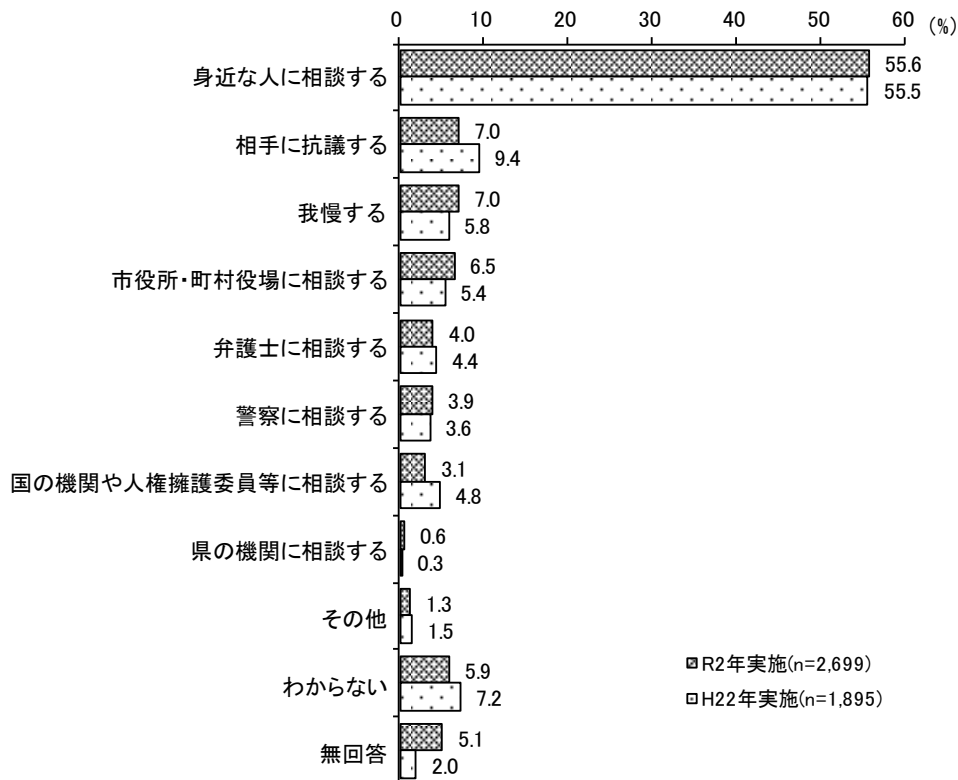
人権が侵害されたと感じた経験のある 770 人に内容を聞いたところ、「職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた」が 50.4%と最も高く、次いで、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われたりした」が 48.8%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」が 29.5%と続いている。前回調査と比較すると、「職場の不当な待遇や上司の言動を受けた」(39.4%→50.4%) が 11.0 ポイント増加している。



問7. もし、あなたが、ご自身の人権を侵害されたと感じた場合、まず、どのような対応をしますか。  
 (〇は1つ)

【県全域／前回との比較】

人権が侵害された場合の対応は、「友人・家族等の身近な人に相談する」が 55.6%で最も高く、次いで、「相手に抗議する」「我慢する」が 7.0%となっている。前回調査と比較して、相談相手や対応に大きな変化はみられない。





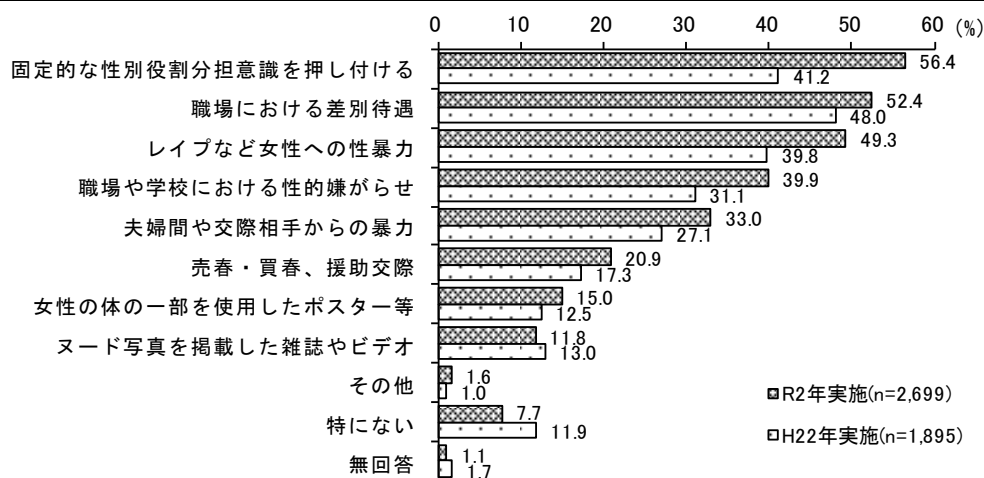
## 2 女性の人権

問8. あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのような行為に対してですか。

(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

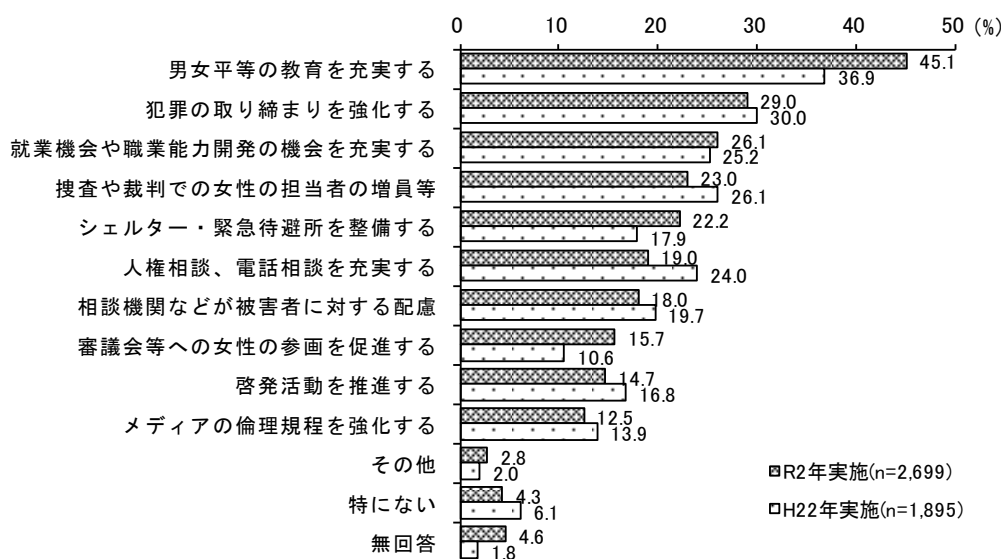
女性の人権が尊重されていないと感じる行為は、「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」が56.4%で最も高く、次いで、「職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が52.4%、「レイプ（強姦）など女性への性暴力」が49.3%と続いている。前回調査と比較すると、「固定的な性別役割分担意識を押し付ける」（41.2%→56.4%）が15.2ポイント高くなっている。



問9. あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

### 【県全域／前回との比較】

女性の人権を守るために必要なこととして、「男女平等や性についての教育を充実する」が45.1%で最も高く、次いで、「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が29.0%と続いている。前回調査と比較すると、「男女平等の教育を充実する」（36.9%→45.1%）が8.2ポイント増加している。



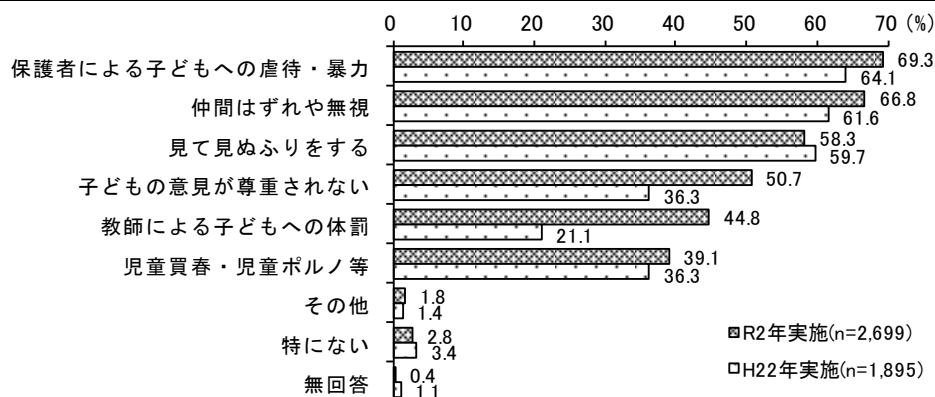
### 3 子どもの人権

問10. あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。

(該当するものすべてに○)

#### 【県全域／前回との比較】

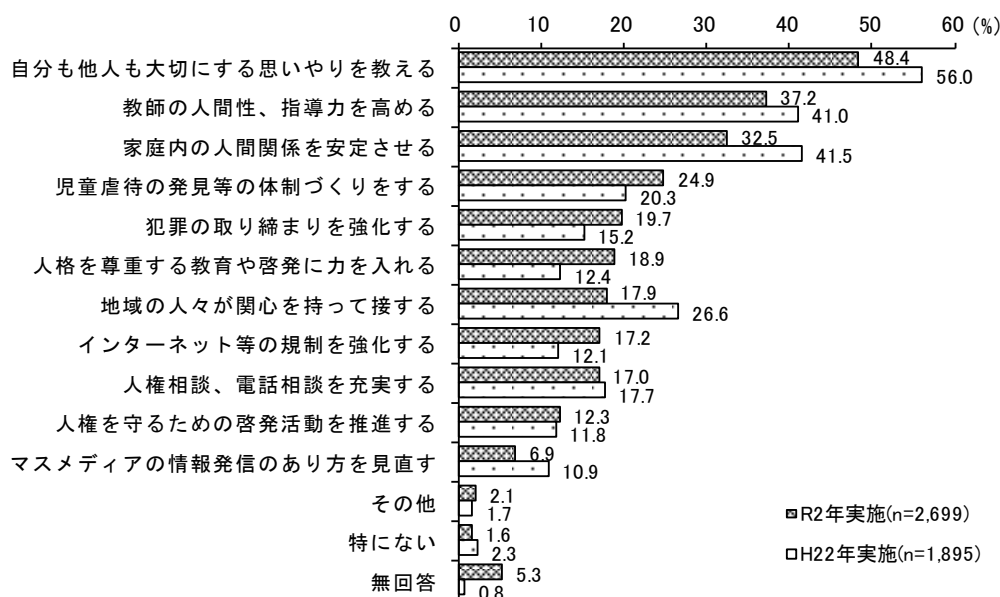
子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「保護者による子どもへの虐待・暴力」が69.3%で最も高く、次いで、「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりする」が66.8%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」が58.3%と続いている。前回調査と比較すると、「教師による子どもへの体罰」(21.1%→44.8%)が23.7ポイント、「親が子どもに自分の考えを強要し、子どもの意見が尊重されない」(36.3%→50.7%)が14.4ポイント増加している。



問11. あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

#### 【県全域／前回との比較】

子どもの人権を守るために必要なこととして、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にすることを教える」が48.4%で最も高く、次いで、「教師の人間性、指導力を高める」が37.2%、「家庭内の人間関係を安定させる」が32.5%と続いている。前回調査と比較すると、「家庭内の人間関係を安定させる」(41.5%→32.5%)が9.0ポイント、「地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接する」(26.6%→17.9%)が8.7ポイント減少している。

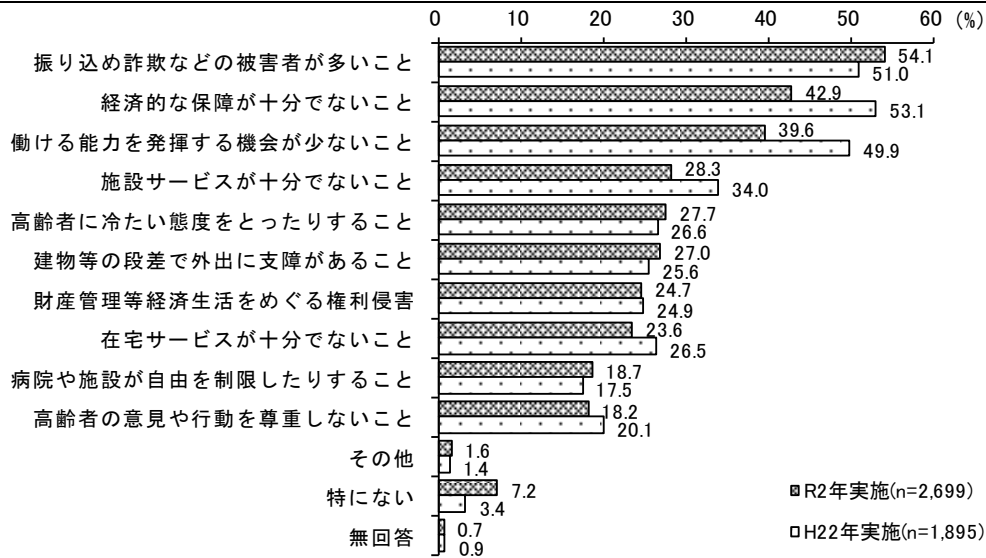


## 4 高齢者の人権

問12. あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。  
(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

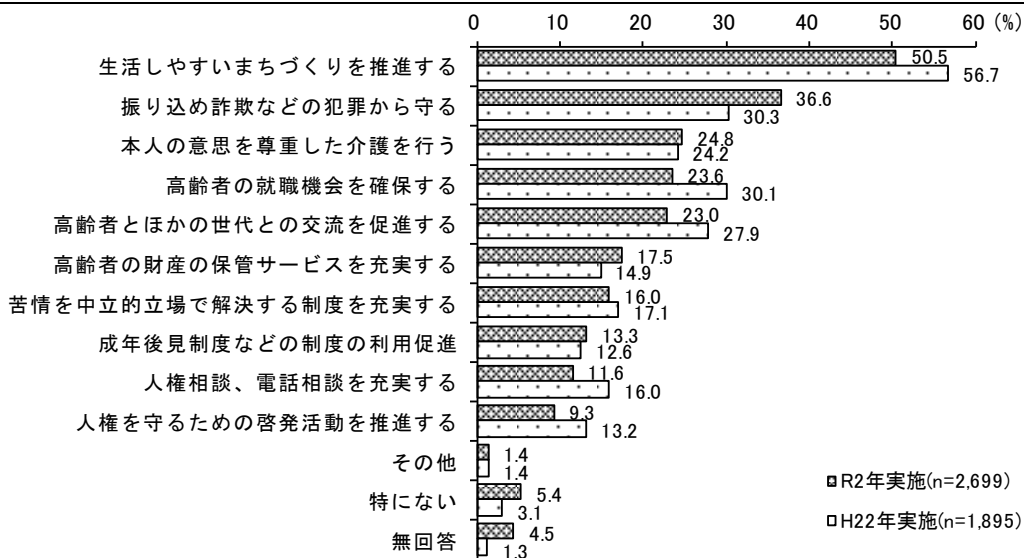
高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多いこと」が54.1%で最も高く、次いで、「経済的な保障が十分でないこと」が42.9%、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が39.6%と続いている。前回調査と比較すると、「経済的な保障が十分でないこと」(53.1%→42.9%)が10.2ポイント、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(49.9%→39.6%)が10.3ポイント減少している。



問13. あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

### 【県全域／前回との比較】

高齢者の人権を守るために必要なこととして、「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」が50.5%で最も高く、次いで、「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」が36.6%、「本人の意思を尊重した介護を行う」が24.8%と続いている。前回調査と比較すると、「振り込め詐欺などの犯罪から守る」(30.3%→36.6%)が6.3ポイント増加、「高齢者の就職機会を確保する」(30.1%→23.6%)が6.5ポイント減少している。

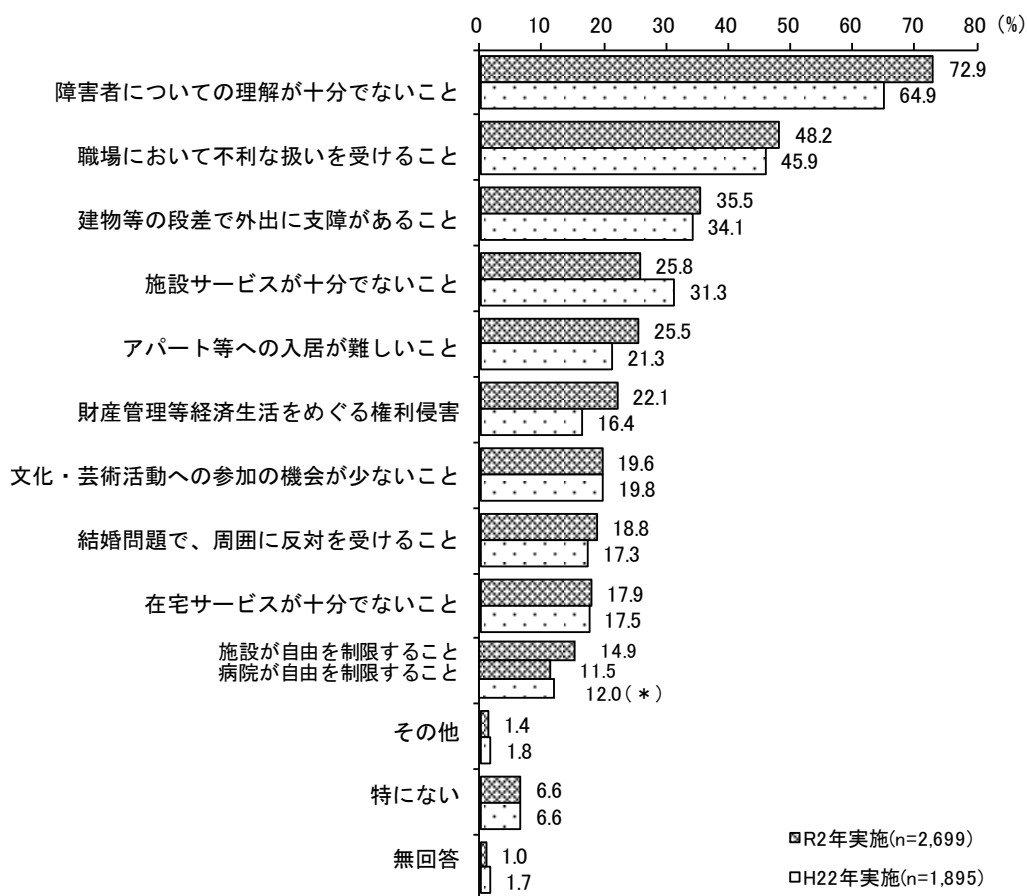


## 5 障害者の人権

問14. あなたは、障害者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。  
(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

障害者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「障害または障害者についての理解が十分でないこと」が72.9%で最も高く、次いで、「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が48.2%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」が35.5%と続いている。前回調査と比較すると、「障害者についての理解が十分でないこと」(64.9%→72.9%)が8.0ポイント増加している。

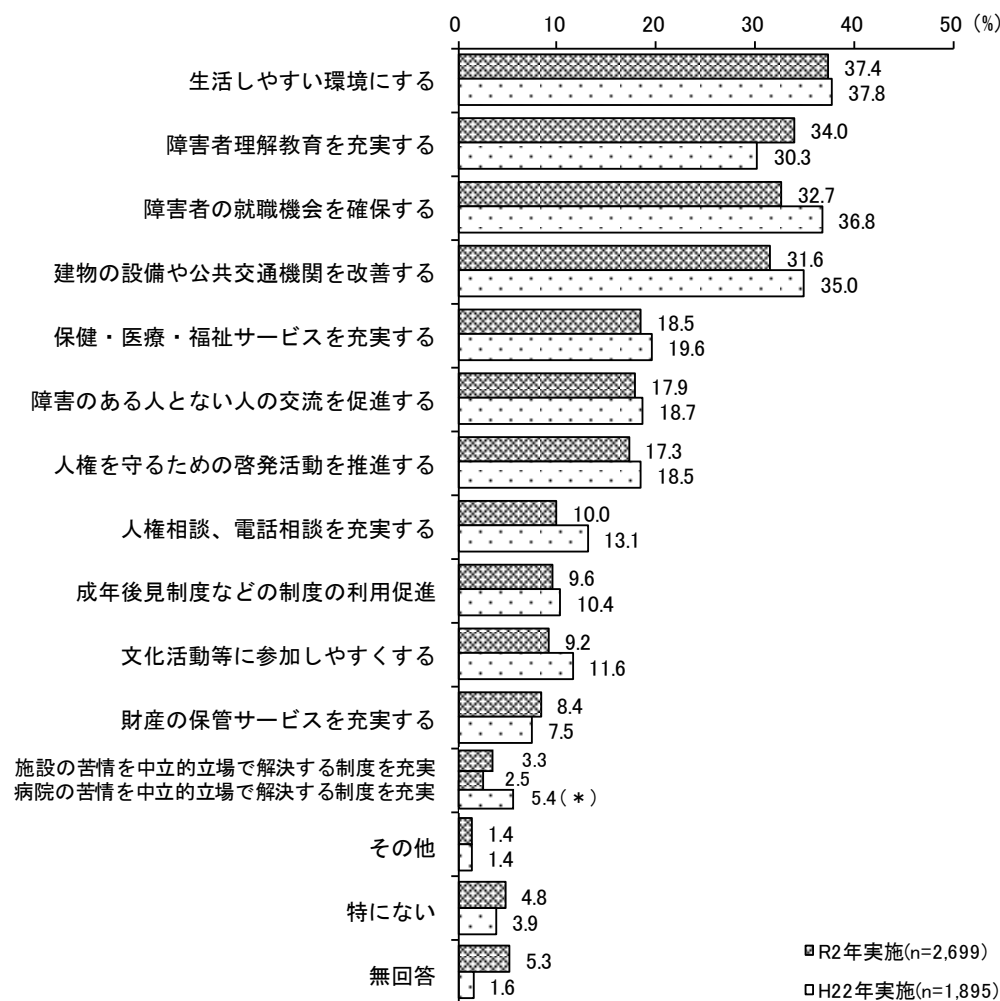


\* : H22年は「病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりすること」

問15. あなたは、障害者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

障害者の人権を守るために必要なこととして、「自立を目指す障害者が、生活しやすい環境にする」が37.4%で最も高く、次いで、「学校教育の中で、障害者理解教育を充実する」が34.0%、「障害者の就職機会を確保する」が32.7%、「障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が31.6%と続いている。前回調査と比較すると、「障害者の就職機会を確保する」(36.8%→32.7%)が4.1ポイント減少している。



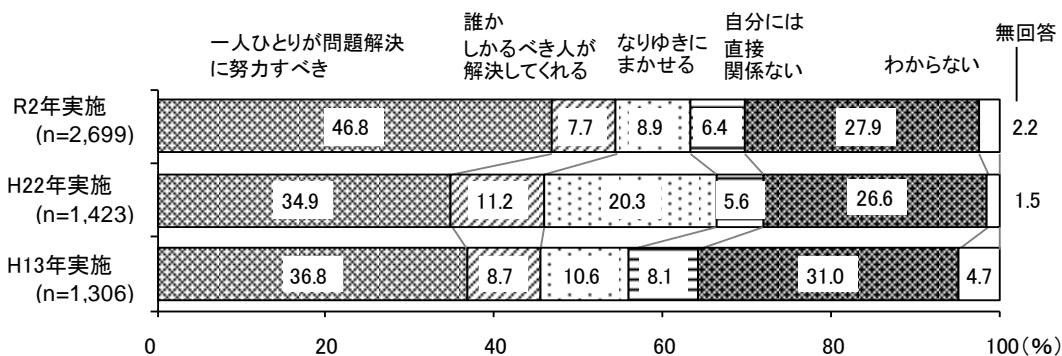
\* : H22年は「病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する」

## 6 同和問題（部落差別）

問16. 部落差別のない社会を実現するため、平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」（以下「部落差別解消推進法」という。）が施行されました。同和問題（部落差別）の解決について、あなたはどのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

### 【県全域／前回との比較】

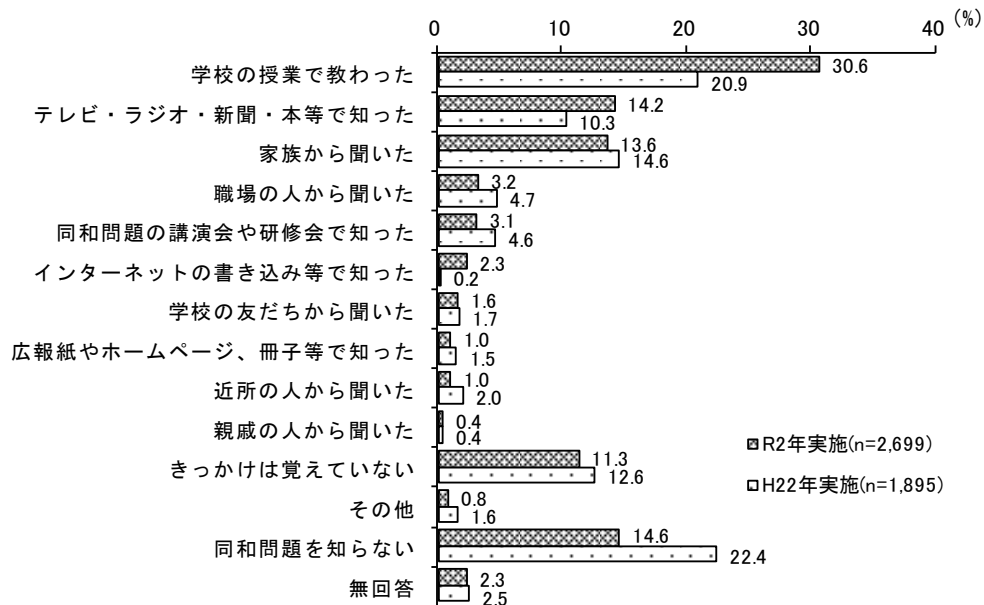
同和問題（部落差別）の解決に対して、「基本的人権に関わる問題だから、一人ひとりがこの問題の解決に努力すべきだと思う」が46.8%で最も高く、次いで、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」が8.9%と続いている。一方、「わからない」は27.9%となっている。前回調査と比較すると、「一人ひとりが問題解決に努力すべき」（34.9%→46.8%）が11.9ポイント増加している。



問17. あなたは、同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、何からですか。（○は1つ）

### 【県全域／前回との比較】

同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が30.6%で最も高く、次いで、「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が14.2%、「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が13.6%と続いている。また、「同和問題を知らない」は14.6%であった。前回調査と比較すると、「学校の授業で教わった」（20.9%→30.6%）が9.7ポイント増加、「同和問題を知らない」（22.4%→14.6%）が7.8ポイント減少している。

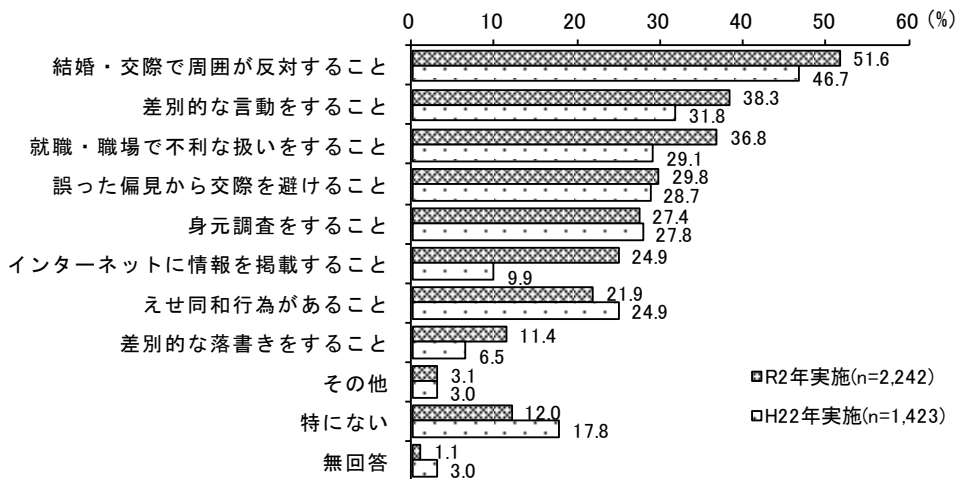


【問17で「13 同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問18. あなたは同和問題（部落差別）に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。  
（該当するものすべてに○）

【県全域／前回との比較】

同和問題を知っている 2,242 人に起きている問題を聞いたところ、「結婚・交際で周囲が反対すること」が 51.6%で最も高く、次いで、「差別的な言動をすること」が 38.3%、「就職・職場で不利な扱いをすること」が 36.8%と続いている。前回調査と比較すると、「インターネットに情報を掲載すること」(9.9%→24.9%)が 15.0 ポイント、「差別的な言動をすること」(31.8%→38.3%)が 6.5 ポイント増加、「特にない」(17.8%→12.0%)が 5.8 ポイント減少している。

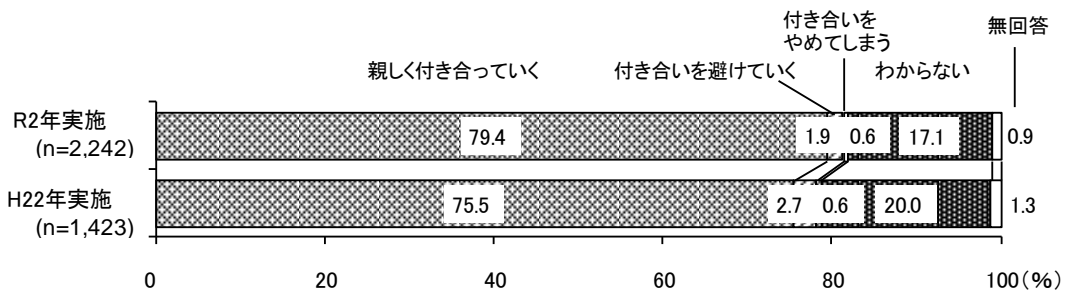


【問17で「13 同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問19. 仮にあなたが親しく付き合っていた人（職場の人や近所の人）が「同和地区」出身の人であったら、どうすると思いますか。（○は1つ）

【県全域／前回との比較】

同和問題を知っている 2,242 人に親しく付き合っていた人が同和地区出身者だった場合の対応を聞いたところ、「これまでと同じように親しく付き合っていく」が最も高く 79.4%となっている。前回調査と比較すると、「親しく付き合っていく」(75.5%→79.4%)が 3.9 ポイント増加している。

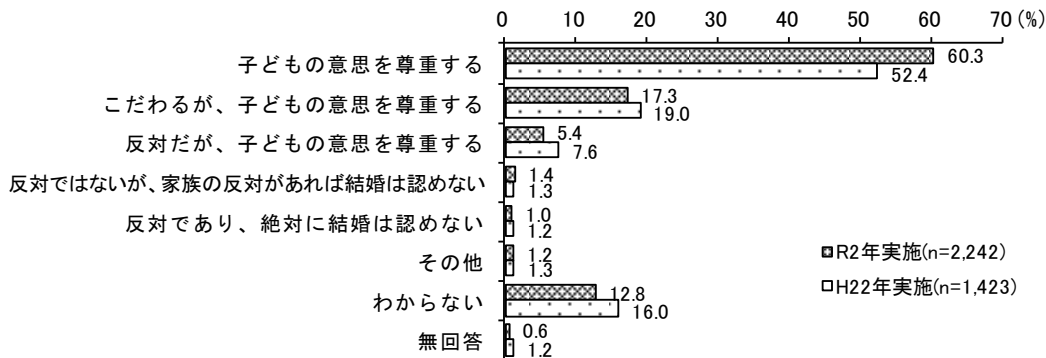


【問17で「13 同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問20. あなたに未婚のお子さんがいるとして、そのお子さんの結婚相手が「同和地区」出身であるとわかった場合、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

【県全域／前回との比較】

同和問題を知っている 2,242 人に自分の子どもの結婚相手が同和地区出身者だった場合の対応を聞いたところ、「子どもの意思を尊重する」が 60.3%で最も高くなっている。「ややこだわりがあるが、子どもの意思を尊重する」(17.3%) と合わせると、77.6%の人が《子どもの意思を尊重する》との意見であった。一方、「わからない」は 12.8%となっている。前回調査と比較すると、「子どもの意思を尊重する」(52.4%→60.3%) が 7.9 ポイント増加している。

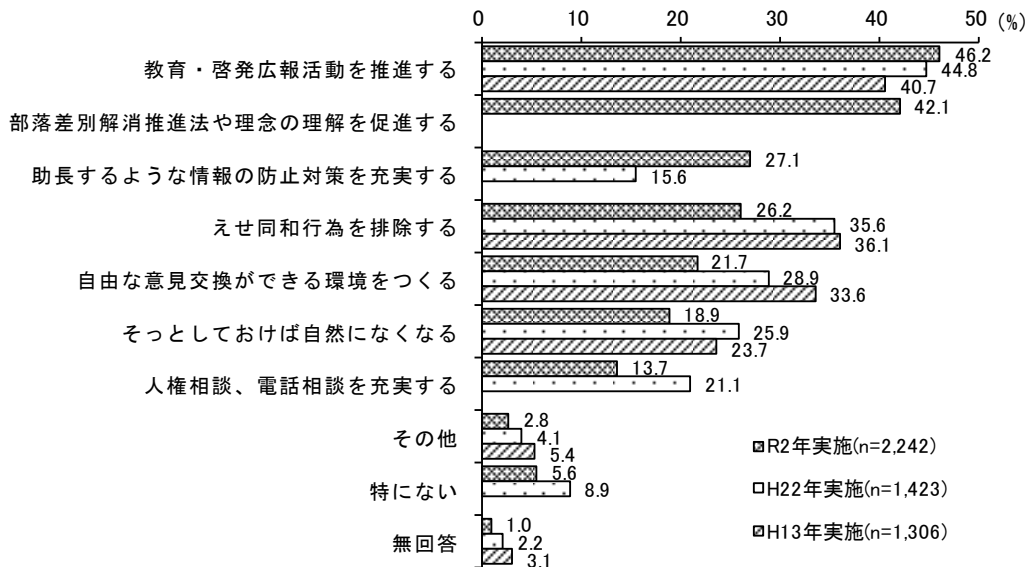


【問17で「13 同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問21. あなたは、同和問題（部落差別）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

同和問題を知っている 2,242 人に同和問題の解決のために必要なことを聞いたところ、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が 46.2%で最も高くなっている。次いで、「部落差別解消推進法の目的や基本理念の理解を促進する」が 42.1%、「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が 27.1%と続いている。前回調査と比較すると、「助長するような情報の防止対策を充実する」(15.6%→27.1%) が 11.5 ポイント増加、「えせ同和行為を排除する」(35.6%→26.2%) が 9.4 ポイント減少している。



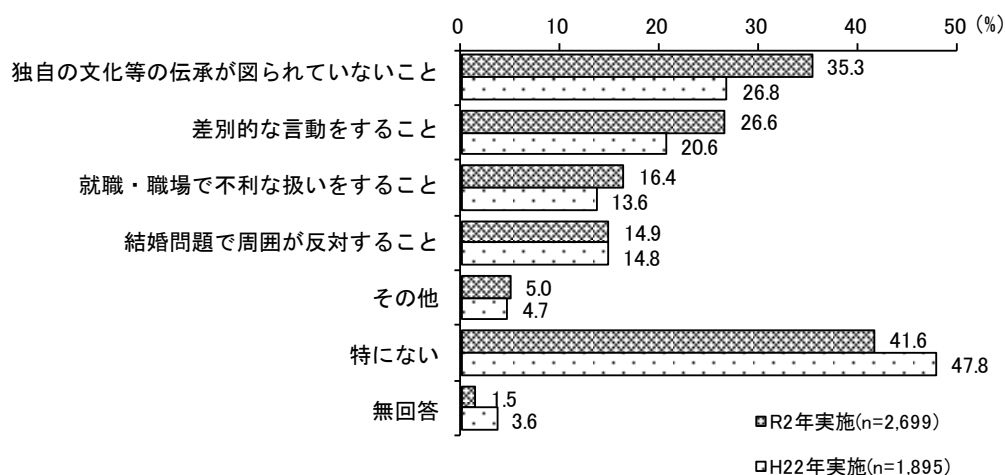


## 7 アイヌの人々の人権

問22. あなたは、アイヌの人々に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

アイヌの人々の人権が尊重されていないと感じる状況は、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」が35.3%で最も高くなっている。一方、「特にない」が41.6%となっている。前回調査と比較すると、「独自の文化等の伝承が図られていないこと」(26.8%→35.3%)が8.5ポイント増加している。

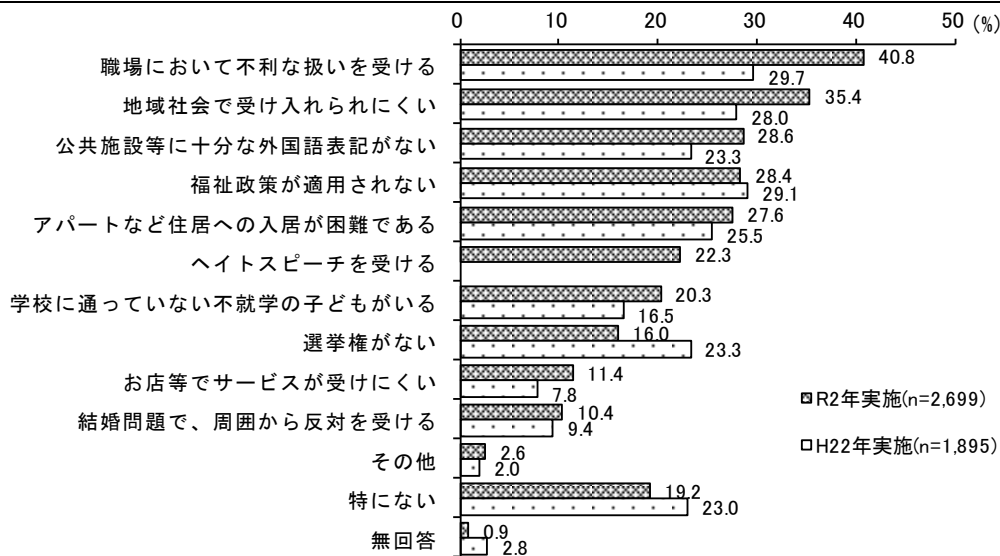


## 8 外国人の人権

問23. あなたは、日本に住む外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

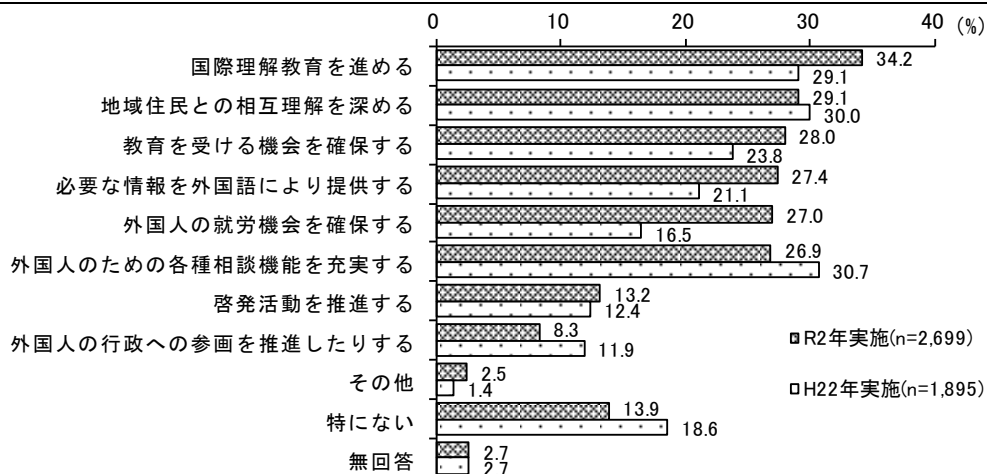
外国人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が40.8%で最も高く、次いで、「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が35.4%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい」が28.6%と続いている。前回調査と比較すると、「職場において不利な扱いを受ける」(29.7%→40.8%)が11.1ポイント、「地域社会で受け入れられにくい」(28.0%→35.4%)が7.4ポイント増加している。



問24. あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

### 【県全域／前回との比較】

外国人の人権を守るために必要なこととして、「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が34.2%で最も高く、次いで、「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が29.1%、「外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する」が28.0%と続いている。前回調査と比較して、「外国人の就労機会を確保する」(16.5%→27.0%)が10.5ポイント増加している。

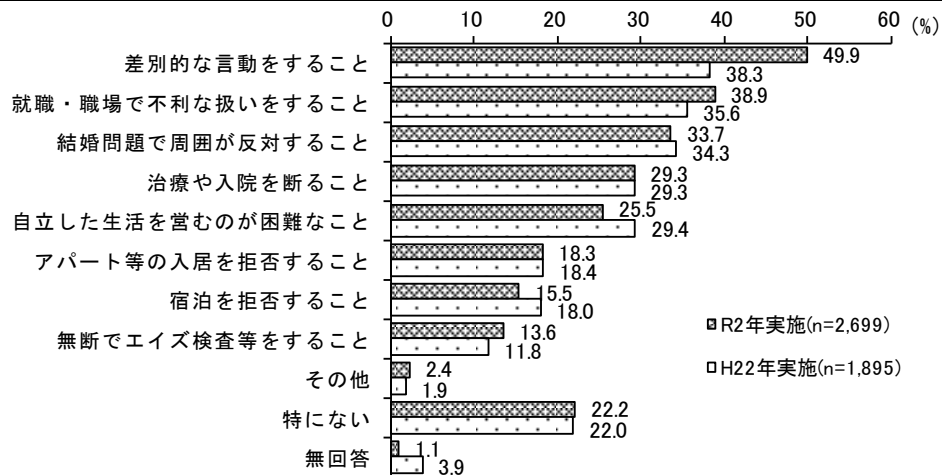


## 9 HIV感染者・ハンセン病患者の人権

問25. あなたは、HIV感染者・ハンセン病患者に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

HIV感染者・ハンセン病患者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「差別的な言動をすること」が49.9%で最も高く、次いで、「就職・職場で不利な扱いをすること」が38.9%、「結婚問題で周囲が反対すること」が33.7%と続いている。前回調査と比較すると、「差別的な言動をすること」(38.3%→49.9%)が11.6ポイント増加している。

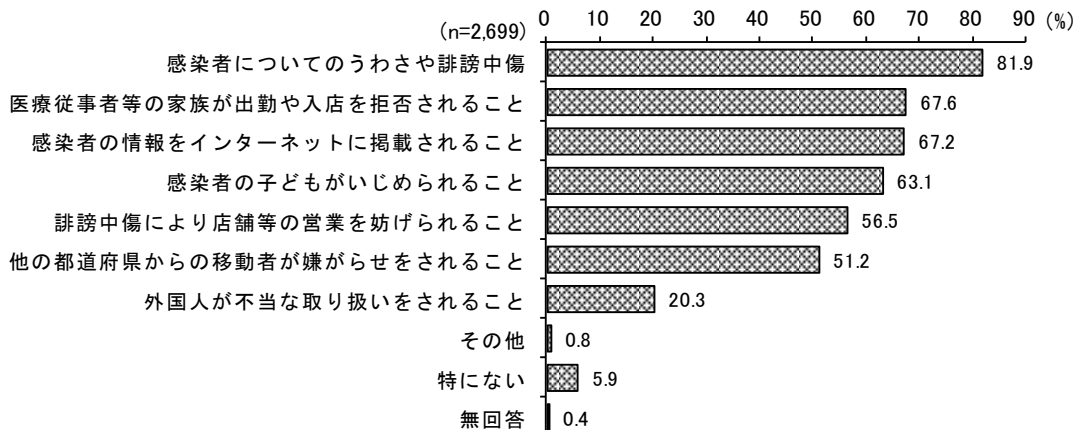


## 10 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題

問26. あなたは、新型コロナウイルス感染症に関連して、人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域】

新型コロナウイルス感染症に関して人権が尊重されていないと感じる状況は、「感染者やその家族について、うわさされたり、誹謗中傷(ひどい悪口)をされたりすること」が81.9%で最も高く、次いで、「医療従事者等の家族が出勤や店舗等への入店を拒否されたり、子どもの登校・登園を拒否されたりすること」が67.6%、「感染者やその家族の氏名・住所等の情報がインターネットに掲載されたり、書き込みをされたりすること」が67.2%の順となっている。

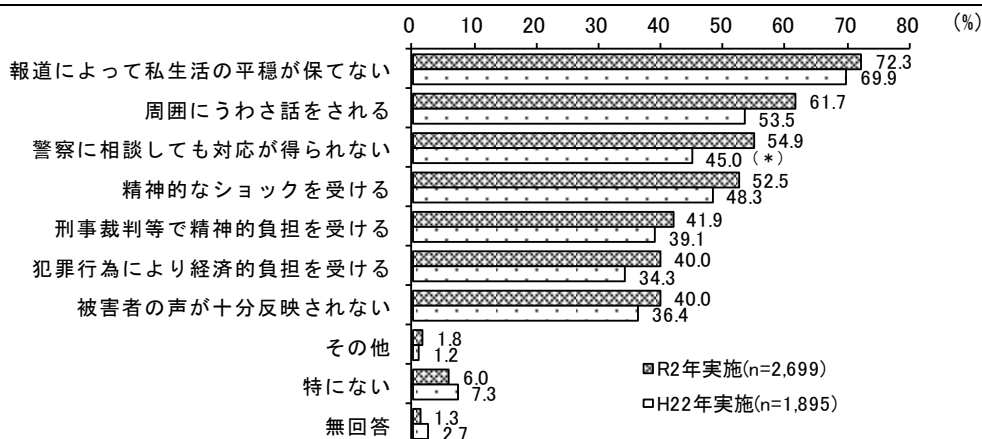


## 1.1 犯罪被害者やその家族の人権

問27. あなたは、犯罪被害者等に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなったりすること」が72.3%で最も高く、次いで、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が61.7%、「警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと」が54.9%と続いている。前回調査と比較すると、「警察に相談しても対応が得られない」(45.0%→54.9%)が9.9ポイント増加している。



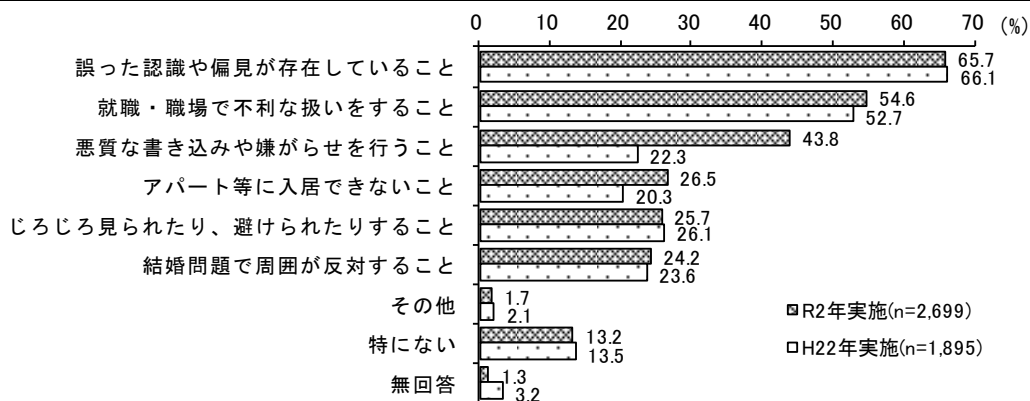
\* : H22年は「警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと」

## 1.2 刑を終えて出所した人の人権

問28. あなたは、罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

罪や非行を犯した人が社会の一員として立ち直ろうとした場合の問題は、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が65.7%で最も高く、次いで、「就職・職場で不利な扱いをすること」が54.6%、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」が43.8%の順となっている。前回調査と比較すると、「悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」(22.3%→43.8%)が21.5ポイントと大きく増加している。



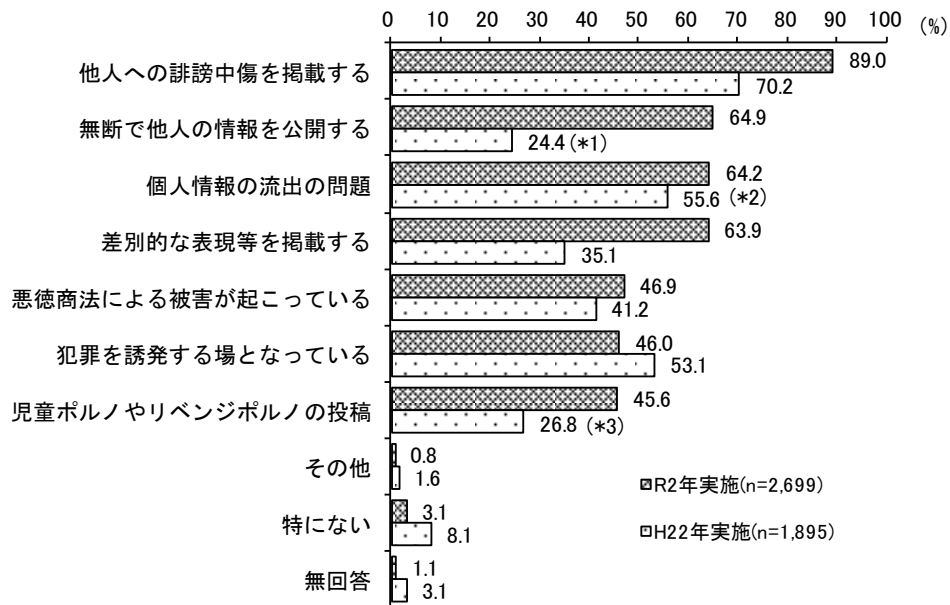
### 1.3 インターネットによる人権問題

問29. あなたは、インターネット上での人権侵害に関して、現在、どのような問題が起きていると思いますか。(該当するものすべてに○)

**【県全域／前回との比較】**

インターネット上での人権侵害に関する問題は、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載したり、書き込みをしたりすること」が 89.0%と最も高くなっている。次いで、「無断で他人の氏名や住所、写真などをインターネット上に公開すること」が 64.9%、「個人情報の流出などインターネット上の自分に関する情報のコントロールができないこと」が 64.2%、「差別的な表現や差別を助長するような表現を掲載したり、書き込みをしたりすること」が 63.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「差別的な表現等を掲載する」(35.1%→63.9%)が 28.8 ポイントと大きく増加している。



\*1：H22年は「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載する」

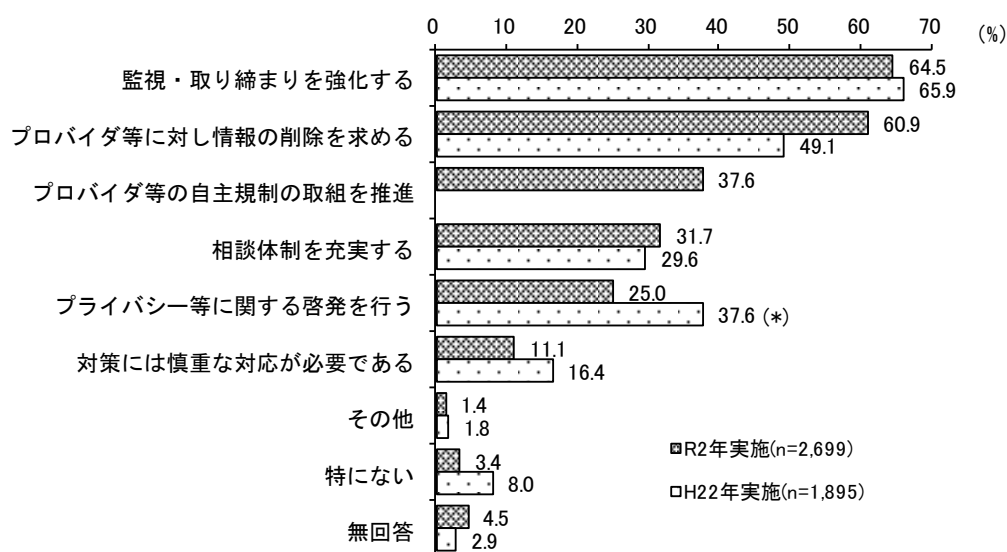
\*2：H22年は「個人情報の流出などの問題が多く発生している」

\*3：H22年は「ネットポルノが存在する」

問30. あなたは、インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

インターネット上の人権を守るために必要なこととして、「不当・違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が64.5%で最も高く、次いで、「プロバイダ（インターネット接続業者）等に対し、人権を侵害する情報の削除を求めることができる簡易な制度を整備する」が60.9%、「プロバイダ（インターネット接続業者）等の自主規制の取組を推進させる」が37.6%と続いている。前回調査と比較すると、「プロバイダ等に対し情報の削除を求める」（49.1%→60.9%）が11.8ポイント増加している。



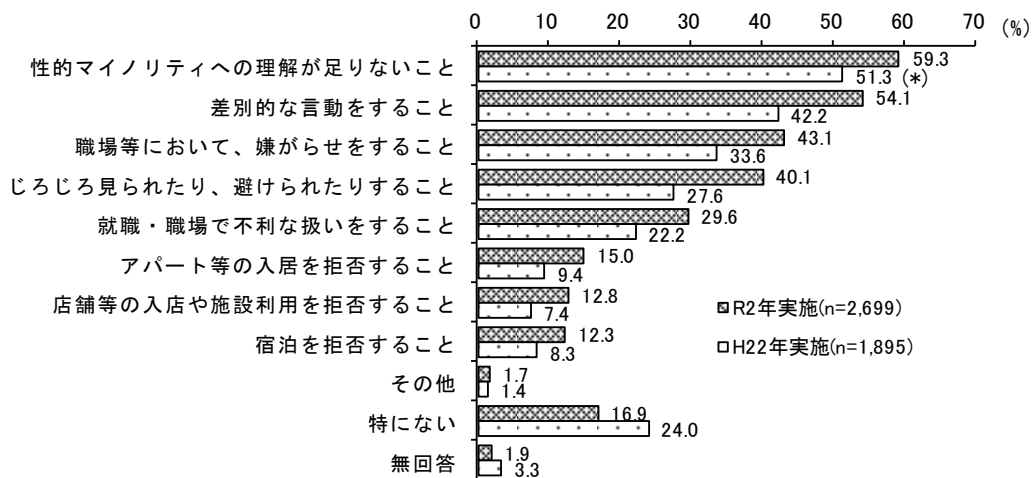
\* : H22年は「利用者やプロバイダ（インターネット接続業者）などに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深める」

## 14 性的マイノリティ（LGBT等）の人権

問3 1. あなたは、性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（該当するものすべてに○）

### 【県全域／前回との比較】

性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じる状況は、「性的マイノリティに対する理解が足りないこと」が59.3%で最も高く、次いで、「差別的な言動をすること」が54.1%、「職場、学校において、嫌がらせをすること」が43.1%と続いている。前回調査と比較すると、いずれの項目も増加傾向にあり、特に「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(27.6%→40.1%)が12.5ポイント、「差別的な言動をすること」(42.2%→54.1%)が11.9ポイントと大きく増加している。

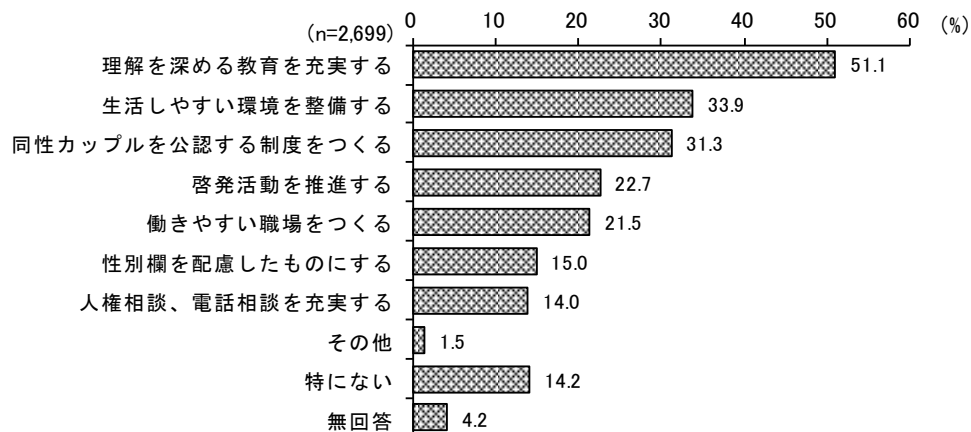


\* : H22年は「性同一性障害者や性的指向の異なる人に対する理解が足りないこと」

問3 2. 性的マイノリティの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

### 【県全域】

性的マイノリティの人権を守るために必要なこととして、「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」が51.1%で最も高く、次いで、「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」が33.9%、「パートナーシップ宣誓制度など、同性カップルを公認する制度をつくる」が31.3%と続いている。

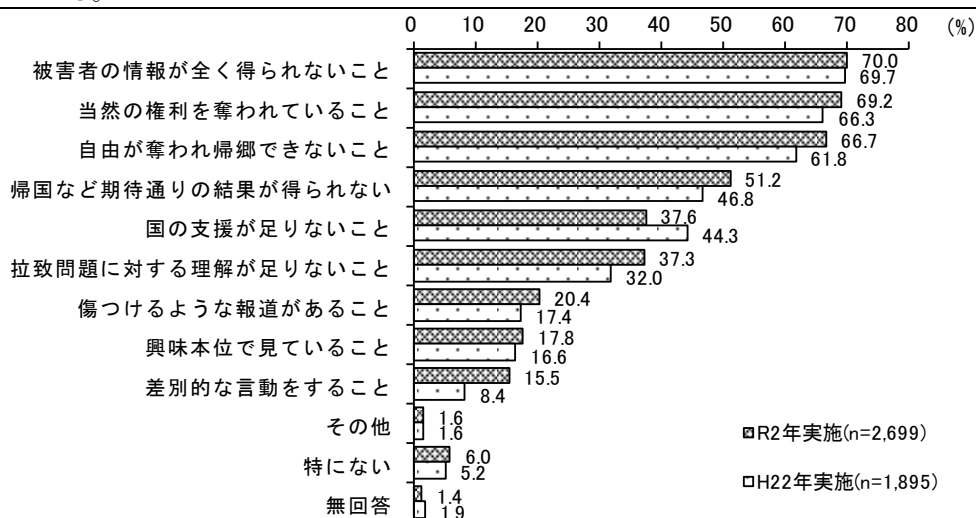


## 1 5 拉致問題

問3 3. あなたは、北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていますか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

拉致被害者等に関して人権問題と思うものを聞いたところ、「未帰還の拉致被害者の家族にとって、被害者の生死などの情報が全く得られないこと」が70.0%と最も高く、次いで、「拉致被害者及びその家族は一緒に生活するという当然の権利が奪われていること」が69.2%、「拉致被害者は、身体や居住移転の自由が奪われ帰郷できないこと」が66.7%で、いずれも60%を超えている。前回調査と比較すると、「差別的な言動をすること」(8.4%→15.5%)が7.1ポイント高くなっている。

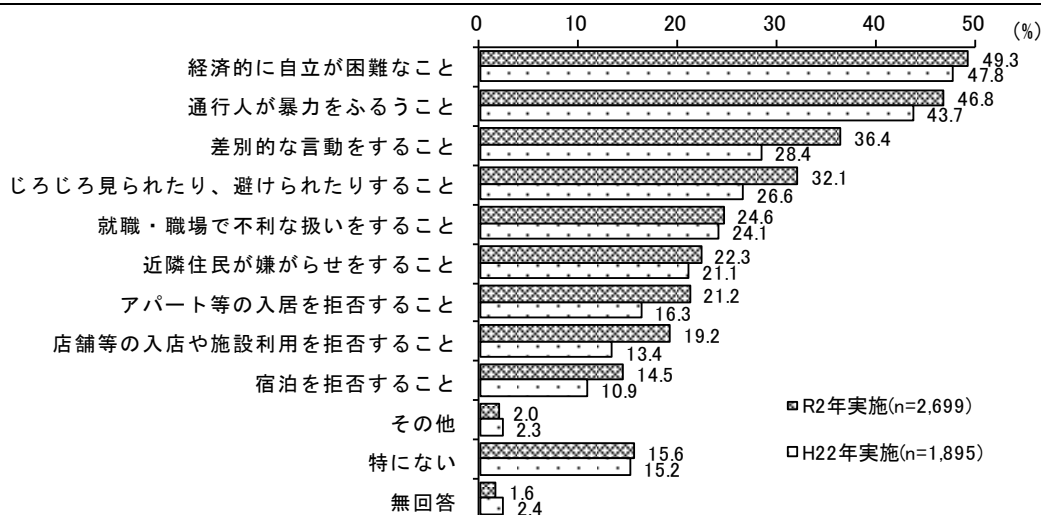


## 1 6 ホームレスの人権問題

問3 4. あなたは、ホームレスに関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

### 【県全域／前回との比較】

ホームレスの人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的に自立が困難なこと」が49.3%で最も高く、次いで、「通行人が暴力をふるうこと」が46.8%、「差別的な言動をすること」が36.4%と続いている。前回調査と比較すると、「差別的な言動をすること」(28.4%→36.4%)が8.0ポイント高くなっている。



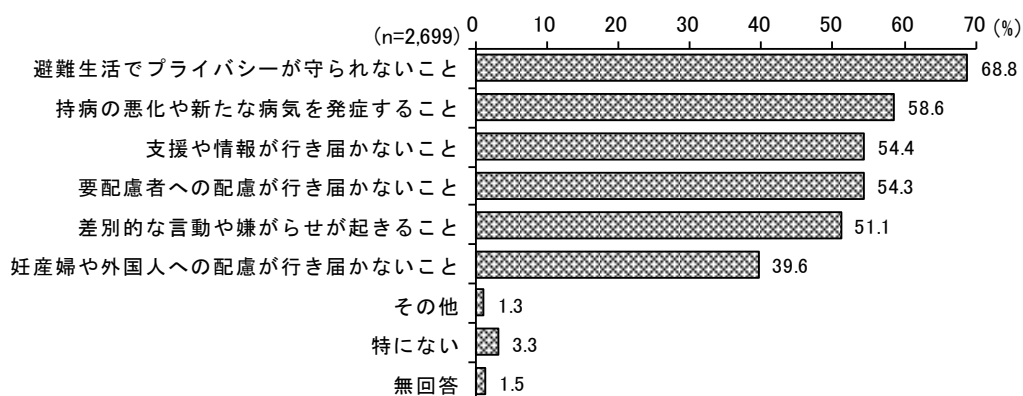


## 1.7 地震や台風などの災害時における人権

問35. あなたは、地震や台風などの災害が起きた場合に、人権上問題になると思われるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

地震や台風などの災害が起きた場合、人権上問題になると思うものを聞いたところ、「避難生活でプライバシーが守られないこと」が68.8%と最も高く、次いで、「避難生活の長期化により持病が悪化したり、新たな病気を発症したりすること」が58.6%、「必要な支援や被災状況などの情報が行き届かないこと」が54.4%、「要配慮者（障害者、高齢者、乳幼児等）に対して十分な配慮が行き届かないこと」が54.3%と続いている。

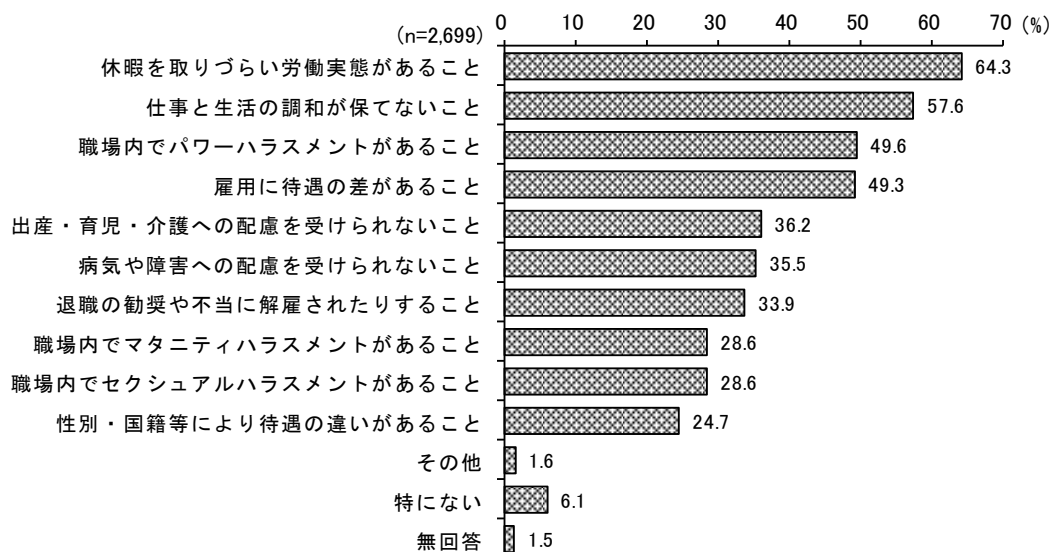


## 1.8 働く人の人権

問36. あなたは、働く人の人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

働く人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「休暇制度があっても取りづらいような労働実態があること」が64.3%と最も高く、次いで、「長時間労働が常態化して、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が保てないこと」が57.6%と続いている。



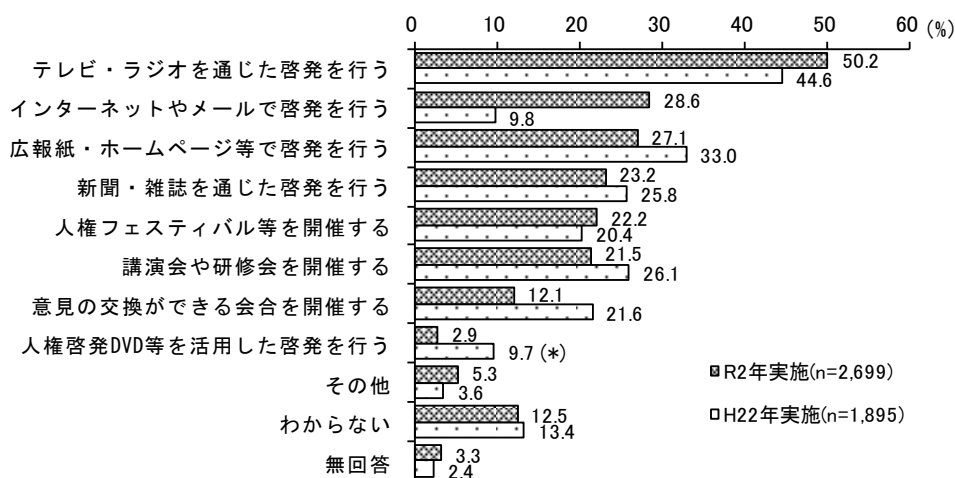
## 19 埼玉県の人権に関する取組

問37. 人権に対する理解を高め、一人ひとりが人権問題を解決していくためには、人権に関する教育や啓発活動が重要と考えられます。あなたは、人権啓発を促進していくには、どのような啓発広報活動が有効だと思いますか。(〇は3つまで)

### 【県全域／前回との比較】

人権啓発を促進していくための有効手段として、「テレビ・ラジオを通じた啓発を行う」が50.2%と最も高く、次いで、「インターネットやメール（メールマガジン等）による啓発を行う」が28.6%、「県や市町村の広報誌・ホームページ等による啓発を行う」が27.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「インターネットやメールで啓発を行う」(9.8%→28.6%)が18.8ポイントと大きく増加している。

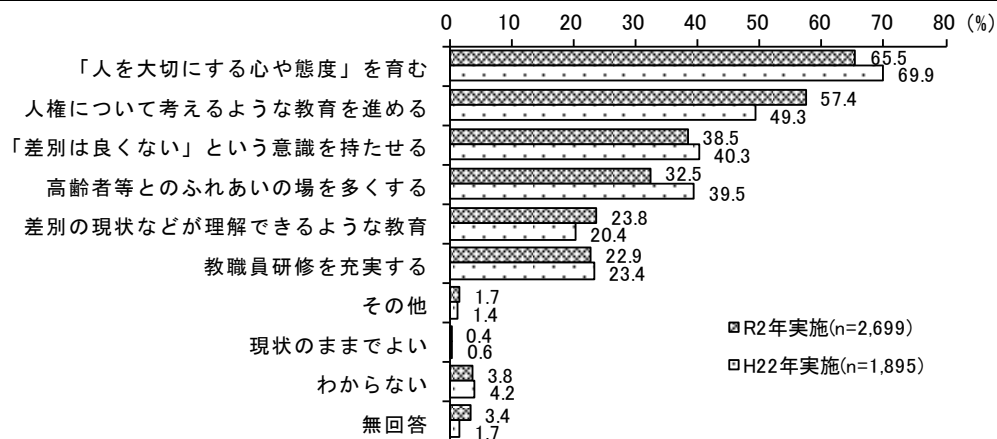


\* : H22年は「映画・ビデオを通じた啓発を行う」

問38. あなたは、人権教育を促進していくには、学校においてどのような教育を進めていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

### 【県全域／前回との比較】

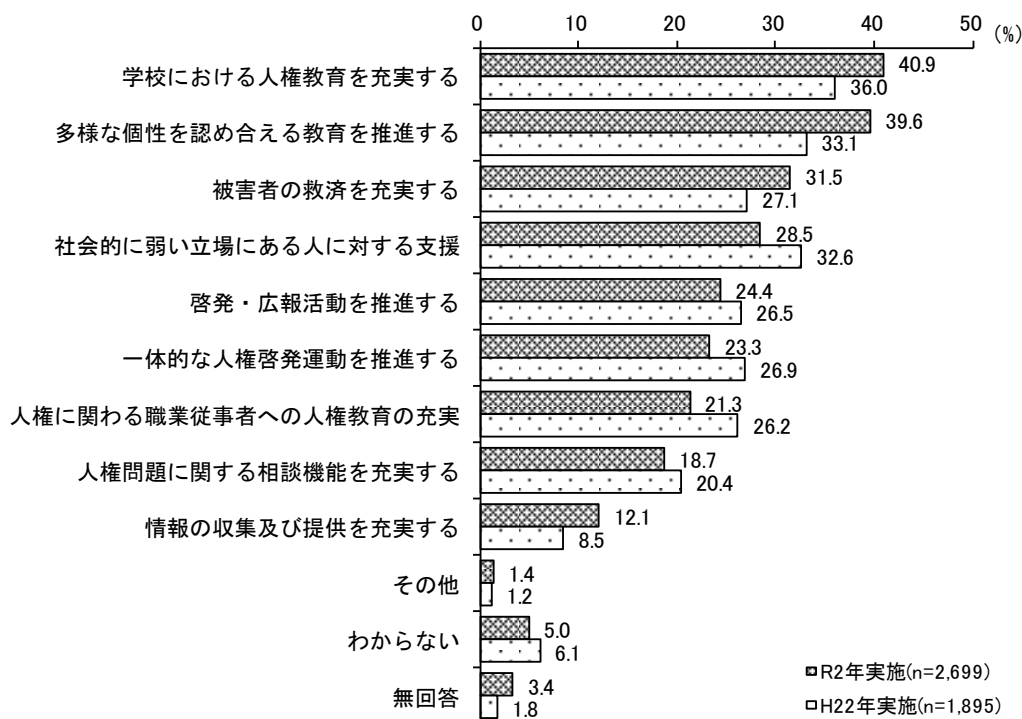
人権教育を促進していくために必要な学校教育は、「人を大切にする心や態度を育む」という教育を進める」が65.5%と最も高く、次いで、「すべての児童・生徒が基本的な人権について考えるような教育を進める」が57.4%、「差別するのは良くないことである」という意識を持たせる教育を進める」が38.5%と続いている。前回調査と比較すると、「人権について考えるような教育を進める」(49.3%→57.4%)が8.1ポイントと増加している。



問39. あなたは、人権が尊重される社会を実現するためには、今後、埼玉県は、特にどのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

埼玉県の取り組みとして必要なことは、「学校における人権教育を充実する」が40.9%と最も高く、次いで、「幼児の時から、多様な個性を認め合える教育を推進する」が39.6%、「人権が侵害された被害者の救済を充実する」が31.5%と続いている。前回調査と比較すると、「多様な個性を認め合える教育を推進する」(33.1%→39.6%)が6.5ポイント増加している。



## 人権に関する県民意識調査 概要版

---

調査主体 : 埼玉県県民生活部人権推進課  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
電話 : 048-830-2255  
調査実施機関 : 株式会社タイム・エージェント

---